

『心に残る文化財子ども塾』学習指導案

日 時:平成25年6月3日(月)

9:35~12:15

場 所:浜田市立三階小学校体育館

対 象:6年生 児童42名

指導者:古代出雲歴史博物館職員1名

三階小学校6年担任1名

1. 主題(主題名)

奈良の大仏作りにかける思い

2. ねらい

○奈良の大仏パネルを完成させることで、その大きさを実感し、当時の人々の知恵や技術、思いの深さについて考えることができる。

3. 展開

時間	学習活動	指導者の支援・配慮事項	準備物
9:35~9:40 (5分)	1. 学習の見通しをもつ	・講師及び歴史博物館員の仕事を紹介する。 ・学習の内容やねらいを説明する。	
9:40~9:50 (10分)	2. 奈良時代について学ぶ	今までの学習を振り返りながら、奈良時代になぜ大仏が作られるようになったのか思いを持つようにする。	・ワークシート
9:50~10:35 (45分)	3. 奈良の大仏パネル作り (1) 映像 (2) 組み立て (3) 記念写真	・映像を見ながら、その当時の人々の大仏作成にかける思いや願望を感じるようにする。 ・初めに土台となる台座の部分を先に並べ、その後残りのパーツを協力し完成させる事で、バランスよく並べるようにする。	・DVD ・大仏パネル ・パネル配置図
10:35~10:50 (15分)	4. 奈良の大仏の話聞きながら、学習のまとめをする	・実物大の奈良の大仏パネルを見ながら奈良の大仏の説明を聞いたり、質問に答えたりすることでイメージを更に膨らませるようにする。 ・感想発表とアンケートを行う。	・アンケート用紙
11:00~12:15	上記と同じ配分でもう一クラス実施		

4. 準備物等

- ・奈良の大仏の実物大パネル
- ・配置図
- ・アンケート用紙
- ・配付資料
- ・ワークシート
- ・パソコン
- ・プロジェクター